

情報公開文書

研究の名称	眼瞼下垂を伴った プロスタグランジン関連眼窩周囲症 (prostaglandin-associated periorbitopathy ; PAP) 患者における角膜形状解析
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	眼科 講師 柚木達也
研究の概要	<p>【研究対象者】 2019年6月から2023年6月の期間に富山大学附属病院で眼瞼下垂の診断を受け、前眼部OCTを施行した患者さん。</p> <p>【研究の目的・意義】 眼瞼下垂を伴ったPAP患者において、正乱視や不正乱視などの角膜形状解析を行うことで、PAPにおける視機能への影響が分かり、原因薬剤の切り替えや中止等の対策を行う根拠を示すことができる。</p> <p>【研究の方法】 2019年6月から2023年6月の期間に富山大学附属病院で眼瞼下垂手術を患者を対象とします。PAPの存在が角膜形状にどのように影響するか調査します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日からから2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	カルテ調査であり、他機関への提供はありません。また、患者データは匿名化され、個人情報切り離されています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者さんや、親族等関係者さんのご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 眼科 講師 柚木達也
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者さんからの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 眼科医局 076-434-7363</p> <p>E-mail yunokiki@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 眼科講師 柚木達也</p>